

おじゃましました **会員訪問**

vol.047 安全な暮らしをお届けする総合設備会社「相和設備工業」さん

人と水の調和、安全な生活環境を作り続けて60年

藤沢市川名に事業所を構える「相和設備工業(株)」さん。1963年(昭和38年)4月、神奈川県企業庁水道局の登録工事店として、先代の相原利夫氏が数名の社員とともに水道工事業を立ち上げました。姓名の一部である「相」と平和の「和」を組み合わせ、悠久平和と会社の安寧を念じて名付けられました。

創業以来、業務分野を拡大し、2006年、兄弟会社の(株)ティエスソーワを合併・統合し組織を改変。上下水道及び給排水衛生設備、冷暖房空調設備、各種設備の維持管理まで幅広く手掛ける総合設備業へと発展しました。「水は生活に密着した大切なものです。人と水の調和、安全な生活環境作りを掲げ、私たちは地球の住民として今何をすべきか、思いを馳せながら取り組んでいます」。そう話すのは、二代目代表の相原厚志さん。実務と監理技術を経験した後、2006年代表に就任されました。相原代表の保有資格は、監理技術者、配管技能検定、特定化学物質等作業主任者など10種以上。湘南を中心とした神奈川県内、藤沢市内の一般住宅・ビル・マンションから、学校・体育館まで、あらゆる建築物に携わり、衛生面、安全面に配慮し、信頼に基づく確かな技術と経験で、数多くの実績を積み上げられています。

「藤沢法人会」では、川上彰久前会長に続き、第11代会長に選任された相原厚志さん。副会長在任中は、組織委員会、税制委員会、厚生委員会の担当として尽力されました。「スローガンは『あとから来る人のために』とし、思いやりを大切に、人のため、安心安全な暮らしのために、できることを精いっぱいやってまいります。今の課題としては、老朽化した法人会館の整備、そして会の定款、内規の読み返し・見直しを検討しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします」。



▲企業庁水道営業所との契約により、公道内の緊急漏水本管工事の様子。



▲施工事例：神奈川県体育センター(公共施設)

「あとから来る人のために」
思いやりと感謝の気持ちをも
って、ともに取り組んで
まいりましょう!!



▶従業員健康管理、取り組みが優良であると「日本健康会議」より認められ、健康経営優良法人2022、2023と続けて認定されました。



相和設備工業 株式会社
神奈川県藤沢市川名2-5-25
TEL 0466-25-2252(代) FAX 0466-25-2261(代)
<https://www.so-wa.co.jp/>
《事業内容》
給排水衛生設備、冷暖房空調設備工事の設計、施工
一般住宅・総合建設会社等の民間施設工事、工場設備等の特殊設備、諸官庁の公共施設工事、リフォーム工事、非常対策、公道漏対応、本管工事など